

はじまりはじまり

「農学」の

ふしぎでたのしい

近畿大学 農学部 公開講座

後援: 奈良県

開催日時 5月20日(土)
10:30~12:40(受付開始10:00)

会場 ホテル日航奈良
(4F・飛天の間)
奈良市三条本町8-1

来場者全員に
金賞健康米※
パックごはんを
プレゼント!!

※近畿大学農学部と幸南食糧株式会社が共同開発したお米です。

講演① 10:40~11:30



〈講師〉
近畿大学 農学部
応用生命化学科
教授
白坂 憲章

講演② 11:50~12:40



〈講師〉
近畿大学 農学部
環境管理学科
教授
松野 裕

〈テーマ〉
マツタケ研究最前線
～マツタケは人工栽培できるのか～

〈要旨〉

「高松のこの峰も狭に 笠立てて 满ち盛りたる 秋の香のよさ」奈良の高円山に踏み場もないほどマツタケが生い並ぶ風景が万葉集に詠まれているほど昔から私たちの食文化に密接に関係していました。しかし、マツタケの人工栽培は40年以上試みられていますが、いまだに実現されていません。本講座では近畿大学農学部のマツタケ人工栽培に向けての取り組みについて紹介します。

近畿大学農学部では、奈良県内で様々な調査研究活動を行っています。本講座では、そこから学んだ、奈良県の水と農業および環境との関係、それらの特色、現状、そして今後の課題などについてわかりやすく解説します。また、県内で学生が中心となって実施している環境保全活動や地域活性化の取り組み、さらには県の農林業を盛り上げるための取り組みについての概略も説明します。

プログラム

10:00~	受付・開場
10:30~10:40	開会・挨拶
10:40~11:30	講演① [講師] 農学部 応用生命化学科 教授 白坂 憲章
11:30~11:50	休憩
11:50~12:40	講演② [講師] 農学部 環境管理学科 教授 松野 裕
12:40	終了

受 講 無 料 !

事前申込不要/定員120人(先着順)

定員充足の場合、ご参加いただきかねますことをあらかじめご了承ください。

近畿大学農学部公開講座

講演① 10:40~11:30

講師 近畿大学農学部応用生命化学科教授 白坂 憲章



■プロフィール
昭和42年 宮崎県生まれ
平成 3年 京都大学農学部卒業
平成 5年 京都大学大学院農学研究科修士課程修了
平成 6年 京都大学大学院農学研究科博士後期課程中退
平成 6年 近畿大学農学部食品栄養学科助手
平成18年 近畿大学農学部応用生命化学科助教授
平成26年 近畿大学農学部応用生命化学科教授
現在に至る

■現在の専門
応用微生物学、菌類生理学、食品機能学

講演② 11:50~12:40

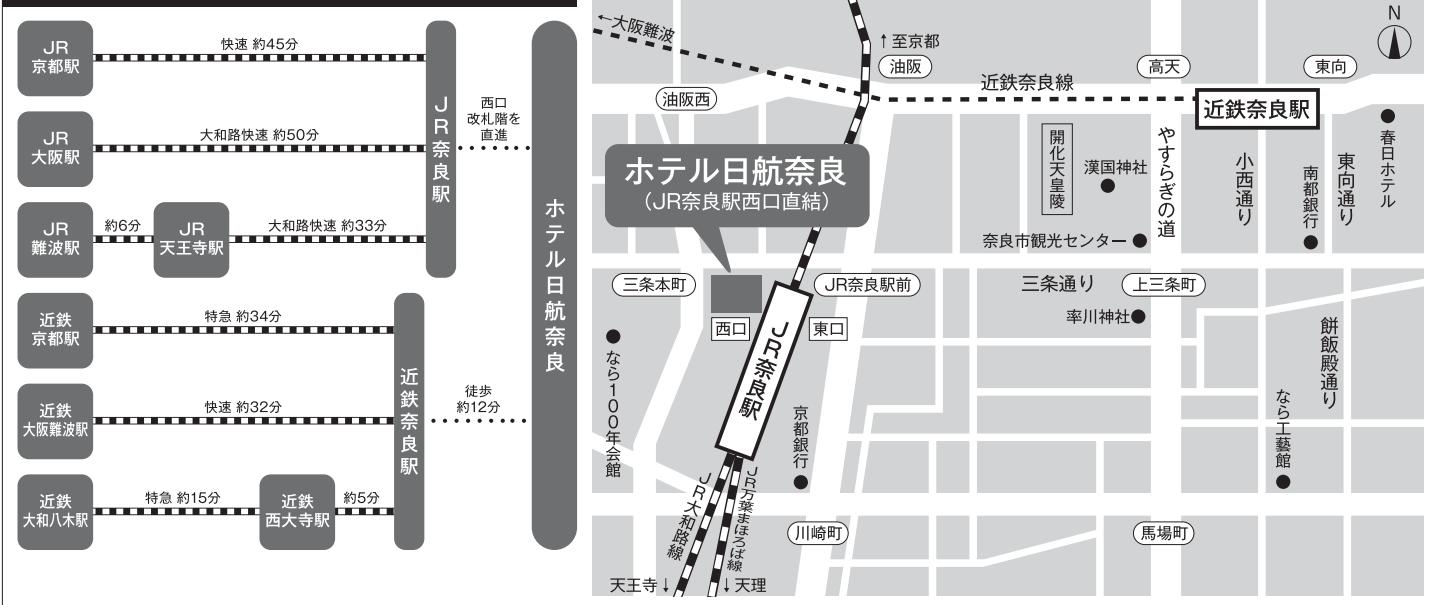
講師 近畿大学農学部環境管理学科教授 松野 裕



■プロフィール
昭和37年 北海道生まれ
昭和60年 日本大学農獸医学部卒業
平成 4年 ワシントン州立大学修士(工学)
平成 8年 アイダホ大学博士(農業工学)
平成 8年 國際水管理研究所
平成13年 近畿大学農学部准教授
平成22年 近畿大学農学部教授
現在に至る

■現在の専門
水環境学、地域水利学、国際農業開発

ACCESS



◆お問い合わせ先

近畿大学 農学部事務部

〒631-8505 奈良市中町3327-204 TEL. (0742) 43-1849
URL <http://www.nara.kindai.ac.jp>

農学は新たな未来を切り開く、無限の可能性を秘めた学問です。

近畿大学農学部では6つの学科から、現代社会が抱える食や環境、健康の諸問題にアプローチ。それぞれの分野で、日々最先端の研究に取り組んでいます。

学科紹介

農業生産科学科

環境、バイオ、農業の最先端へ

「食糧生産」「生物といいやし」「アグリビジネス」の3つの視点で地球環境と健康に配慮した農作物の生産方法から消費までを見据えた、農業生産システムについて研究します。

水産学科

水産資源の食と環境を考える

大切な水産資源の増養殖などの食糧生産から、水域生態系の評価・保護・改善・修復・共生などの環境保全研究まで、分野にとらわれない多角的な研究と学習に取り組んでいます。

応用生命化学科

いのちを知って、いのちを守る

食糧危機やエネルギー資源の確保などで今注目されている学問。
食品成分の機能分析や機能性食品の開発、微生物による環境浄化など、生活を豊かにする研究開発に取り組んでいます。

食品栄養学科
〔管理栄養士養成課程〕

健康を、食の観点から守る

人のからだを根本から作る・守る、食と健康に関する学問です。

附属病院での充実した実習で実践力を磨き、管理栄養士として教育、福祉、医療などの現場で活躍できる人材を育成します。

環境管理学科

国際視点で人と自然の共存を図る

環境汚染や生態系の破壊など、深刻化する地球環境の問題を解決する人材を育成。

フィールドワークと実験・実習を重視したプログラム、英語学習や海外留学などにも力を入れています。

バイオサイエンス学科

生命の「なぞ」を最先端技術で解明し、次世代の産業へ

最先端の生命科学研究と実践的研究を融合させ、医療、創薬、食糧、エネルギーなどの問題解決に向けた研究を展開。

独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人材を育成します。